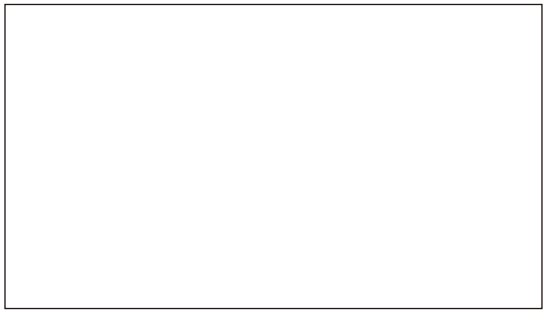
ESPACE SOLO®
エスパース・ソロ

ESPACE DUO
エスパース・デュオ

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください



●ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
●この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

HERITAGE INC.
株式会社ヘリテイジ　〒399-8302　長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎0263(82)0141　WEB SITE：http://heritage.co.jp

ESPACE®

各部名称と説明

A テントパネル
テント室内のムレ（結露）を防ぎ換気を図るため、通気性に優れた生地を使用しています。防水性はありませんので必ずフライシートを併用してください。

B 逆U字型ファスナー式入口
大きくフルオープンする入口は開閉、出入りがスムーズです。上部にはメッシュ固定・ファスナー開閉式ベンチレーターが付き換気も良好です。

C 張り綱
テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。ポールの延長線上でコーナーより約70cmの位置にペグなどで固定してください。

D プラスチック3つ穴自在
テントをしっかり固定する際、張り綱を強く張るためのものです。また撤去の際は、自在を調節すれば簡単にゆるみます。

E フルコネクテッド・ポールスリーブ(PAT)
ポールスリーブ末端まで完全に連結した特殊なポールスリーブにより、一方からポールを差し込むだけで簡単、スピーディーに設営が完了します。

F アーチ状スリット
このスリットからポールを差し込んだり抜いたりします。

G ベンチレーター
入口パネルと後面パネル、およびフライシートに設置。入口側はメッシュ固定・ファスナー開閉式。後面パネルのベンチレーターはメッシュ付きファスナー開閉式で、ちょっとした荷物の出し入れができます。入口上部とフライシートのベンチレーターは連動しているので効果的な換気が可能です。

H グランドシート
パネル面までグランドシートが立ち上がり（バスタブ式）、雨水の跳ね上がりがテントパネルに付着するのを防ぎます。防水地（耐水圧2,000㎜/cm^2以上）を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。

I テントポール
テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかり行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

J 入口留め具
入口パネルを束ねるためのトグルです。

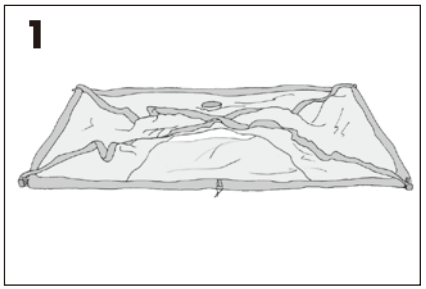
K フライシート
雨や夜露などを防ぐ防水アウターシートです。防水地（耐水圧2,000㎜/cm^2以上）で本体を守ります。通気性はありません。

L ペグループ
このループにペグを通し、地面に打ち込んでフライシートを均一に張りながら固定します。

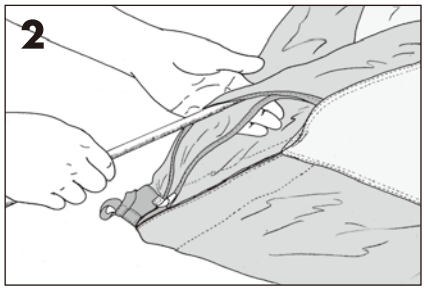
M ペグ
地面にショックコード、張り綱などを固定するアルミ合金製の杭です。

N フライ接続用バックル
フライシートをワンタッチでスピーディーに本体と接続することが可能です。

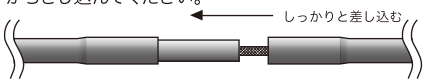
設営方法



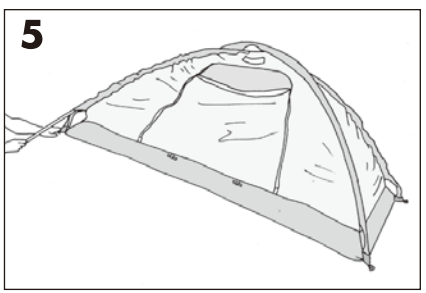
テント本体を広げます。入口は風がない時には半分程開けた状態で、風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度にほんの少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮り止めなどして、飛ばされないように十分注意してください。



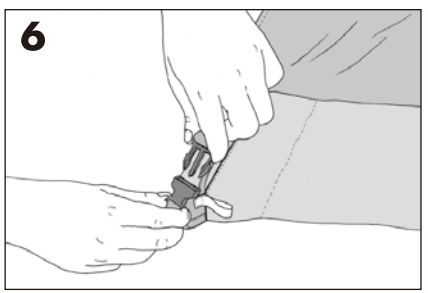
ポールを組み合わせ、アーチ状スリットからポールスリーブに差し込みます。どのコーナーからでもかまいませんが、必ずスリットの右側（赤いテープのある側）からさし込んでください。



ポールを組み合わせる時には、各接合部（ジョイント）を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。

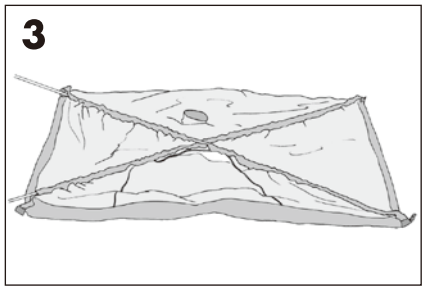


片側のポールをセットし終えたら、同じ手順で残りのポールをセットします。



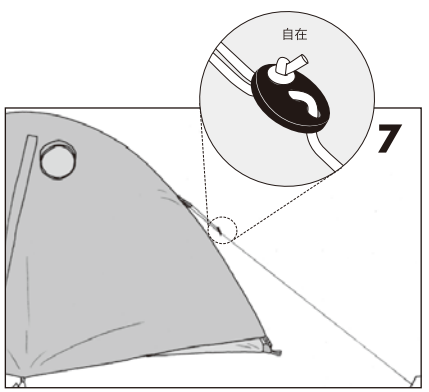
フライシートを本体に被せます。この際、フライシートの入口と本体の入口を合わせてください。次にフライシート４隅に付いているバックルをテント４隅のバックルにセットします。バックルはねじれないようにセットしてください。セットした後、アジャスターテープでフライシートの張り具合を調整します。

緊急用グロメットの使用方法
低温下での設営の際、テントパネルの生地が収縮してきつくなり、ポールエンドを袋状ポール受けに差し込めない場合があります。その場合には、各コーナーに付属している緊急用グロメットにポールエンドを差し込んで設営してください。

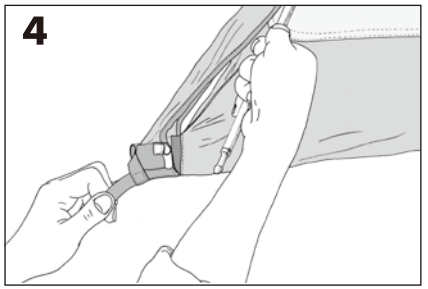


頂点ではポールが交差しますが、もし引っかかった場合は無理に差し込まないで、ポールスリーブ通りに交差させてください。（この際、交差する下側のポールスリーブからポールを通し始めるとスムーズです。ポールスリーブ末端は袋とじになっていますので一気に通します。一気に通さないとスリットからポールが抜け出る場合があります。

⚠ 必ずポール先端がポールスリーブの末端まで行っているか確認してください。



フライシートの各裾中間部にあるショックコードをペグで地面に固定します。その際、フライシートとテントの間の空間が保てるように、なるべく本体から離して固定してください。張り綱は各コーナーからポールの対角線の延長線上、約70cm離れた付近にしっかりとペグで固定します。



２本目のポールが反対側のポール受けに到達したら（途中で引っかかっていないか必ず確認してください）さらに押し込み、湾曲させて手元のポール受けにポール末端をセットしてください。
ポール受けは右側がベルクロで半開しますので、そこからポール末端を差し込んでください。

専用オプション

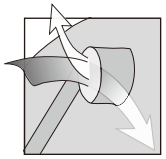
ハンモックネット
ソロ用 ￥800+税
デュオ用 ￥900+税
テント内天井に取り付ける便利な小物置きです。メッシュが２重になったポケット状なので置いたものが落ちにくくなっています。

アンダーグランドシート
ソロ用 ￥3,400+税
デュオ用 ￥4,800+税
テントの下に敷く専用シートです。本体の汚れを防止し、耐久性、防水性が向上します。

注意事項 ⚠

火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。

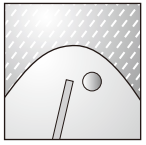


換気必要

テントパネルはテント室内のムレを防ぎ、換気を図るために通気性を優先しています。しかし、雨天時やテントパネル面が結露または低温化で氷結した時などは、通気性が悪くなります。テント室内ではベンチレーターや入口を開けるなどして、常に換気をしてください。

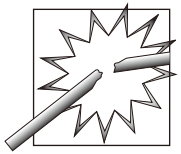
張り綱の取り扱い

このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度（約１００kgf）も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩耗により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。



フライシート

フライシートは降雨や夜露からテント本体を守るためのアウターシートです。防水加工を施していますから、通気性はありません。また低温下では入口ファスナー凍結の恐れがありますので、冬期には使用しないでください。

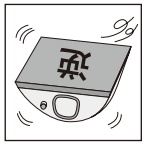


破損時には（スペアポール、応急処置品の携行）

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断し、破損したポールをスペアポールに交換し応急処置してください。
生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、スペアポール、予備の張り綱などを携行してください。

悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた時には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。
張り綱やショックコードがゆるんでフライシートとテント本体が接触すると換気機能が低下し、また漏水の原因ともなりますので十分注意してください。



テントを乾かす時

グランドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。

購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

	ペグ	張り綱	スペアポール
ソロ	8本	4本	1本
デュオ	8本	4本	1本

防水コーティングの劣化（加水分解）

グランドシートやフライシートの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してボロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温（熱）等の影響で次第に劣化していく化学反応（加水分解）によるものです。
加水分解は、一般的に5～7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。
使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後にはメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー（テントバッグとテント室内に表示）により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。

ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。洗剤は使用しないでください。もし使用する場合には十分すすぎ、洗剤を完全に洗い流してください。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト（シリコンスプレー等）を塗布すると、スライダーの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。